

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援センター ハートピア出雲スマイル

公表日

令和7年 3月 18日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7名	3名	・活動内容やメンバーの特性によりスペースを分ける必要があり、光ルーム、とぴあ館、中庭など工夫している。	・重心児と多動な特性の児との活動や静養をそれぞれの目標に合わせて提供できていない。皆と離れて静かに過ごせる空間が必要である。 ・感染対策として、感染症を発症した児には別室対応を行っている。別の感染症で別室対応が重なった場合は、園の利用をお願いすることがあった。 →物理的な構造は変えられないため現状の工夫をしながら対応を継続していく。構造上の問題については施設長と今後検討を続けていく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0名	10名	・現在ボランティアスタッフや他部署の職員に託児を依頼して1対1の療育をしている。	・子どもの特性や状態に合わせた職員の配置で2人体制が必要な場合は、他部署や施設長が配置に加わっている。担当が変更や交代になる時の伝達不足から事故につながらないように十分な確認が必要である。 ・急な休みや会議への参加で現場を外れる際、現場に負荷がかからない職員体制になると良いと思う。 ・人員不足の懸念から休みをとりにくいことがある。フリーの職員がいるのが望ましい。勤務時間内に業務を終えられる配置が望ましい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8名	2名	・必要に応じてパーテーションなどで場所を仕切ったり、絵カード・マーク・PECSで視覚的にわかりやすく提示したりしている。 ・職員一人ひとりが環境上の配慮を行うよう考えて行動しているが改善すべき場所もあるためその都度話し合っている。	・おむつ交換の環境は、利用児、支援者どちらにとっても負担のかかる状態であると感じる。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8名	2名	・心地よい環境、合わせられる環境となるよう職員一人ひとりが意識して相談しながら行っている。 ・日々の洗濯・掃除や玩具の消毒を行っている。発熱で早退した児、病み上がりの児が使用した物は消毒を徹底して行う等感染拡大の予防を行っている。	・オムツ交換の場所が足りず、現状では適切とは言えず、改善が望ましい。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9名	1名	・利用児の特性に対して、重心児や医療ケア児と部屋を分けた方が良いときには、職員間で声を掛け合いながら環境を分けていった。 ・個別訓練の部屋やカーテン、衝立、手作りハウス等を使用し個別の空間を確保を工夫している。	・感染症や体調不良の際、別室で休むなど必要に応じて個別の部屋が使えるようにしているが、部屋数が少ないため重なると使えない状況がある。 ・音が漏れ落ち着かない場合もある。
	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9名	1名	・支援会議や、終礼時に振り返りを行い、参加できない職員に対しては毎日の記録から確認することが出来るようにしている。	・参画しづらい職員には、十分に把握できていない内容について、個別に伝えていく。

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10名	0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の送迎時や連絡帳などで意向を受けた時には職員間で把握し、改善に繋げている。</li> <li>・保護者から頂いた意見に対する会議を設け、全職員で改善方法を検討している。</li> </ul>	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7名	3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援会議や終礼時、困りごと、改善方法の意見を出し職員で話し合いを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終礼や支援会議などで話をする機会はあるができない時もあるため、頻度を増やしていく。</li> <li>・一人ひとりの意見を聞く機会をもっと増やすことや、それに対しての業務改善や説明をもっと行って欲しい。</li> <li>・所属長・施設長による面談もあることが望ましい。</li> </ul>
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5名	5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故が起きたとき、苦情受付の第三者委員の方に評価を頂き、改善に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、第三者評価は実施していないが、第三者に現状を伝え、評価してもらうことも改善につながる為、今後必要だと思われる。</li> </ul>
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10名	0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画を作成し研修に積極的に参加するよう委員会からの促しがある。</li> </ul>	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10名	0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページに公表している。</li> </ul>	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10名	0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数人で担当している児に対しては、担当間で支援について話し合い、個人の評価、本人、家族のニーズを取り入れその人らしい計画書を作成するようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの聞き取りが主となっているため、子どものニーズ把握を様々な手段でしていく必要がある。</li> </ul>
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10名	0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援管理責任者だけでなく担当職員も参加し、複数人で個別支援計画作成会議を開催し、しっかり話し合い支援計画を作成している。</li> </ul>	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9名	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に沿った支援が行われるよう、終礼記録や朝礼簿、支援会議で周知してもらえよう取り組んでいる。</li> <li>・必要に応じて時間を設け、支援方法を共有している。</li> <li>・複数人で担当している児に対しては、担当間で支援について話し合い、その都度対応を一緒に考えていくことができている。担当間で把握できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当児以外の計画は全員には共有・把握しきれない部分もあるが、支援は必要に応じて共有している。</li> </ul>
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9名	1名		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツールを用いるフォーマルな確認も使用してみたいが現在は定期的には行っておらず、インフォーマルな確認のみ行っている。</li> </ul>
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10名	0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回から計画書の内容に変更があり、ガイドラインのねらいや支援内容を踏まえ、支援計画を検討していった。作成していく中で、ねらいや支援内容を繰り返し検討していった。</li> </ul>	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9名	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の活動や行事などの特別な活動の立案を担当だけでなく、それぞれの職種の知識も取り入れながら皆で考えていった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務体制により、活動の場に不在の職員へは、回覧や話し合いの伝達のみでは、把握しにくい内容がある。</li> </ul>

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9名	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の活動でも固定化しないように利用児の特性に合わせて内容や環境をその都度みんなで検討している。</li> <li>・利用児の特性、目標を考慮しながら季節や行事により変更、工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務体制により、活動の場に不在の職員へは、回覧や話し合いの伝達のみでは、把握しにくい内容がある。</li> </ul>
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9名	1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人の児に関わる、それぞれの職種が支援を検討していき、一緒に計画書を作成している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画書作成に携わらない職員は、児の様子を聞き取り、支援に繋げている。</li> </ul>
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10名	0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・打ち合わせに参加できない職員は記録を見て把握できるようにしたり、声掛けでの確認を合わせたりしている。</li> <li>・全員が出欠ボードで確認している。</li> </ul>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6名	4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日終礼はできていないため、必要なことは日誌や記録に記載し、次の日の朝確認を行うようにしている。</li> <li>・終礼の日は、必要に応じていつでも時間を設け、職員間で共有し次の療育に繋げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前は毎日終礼が行われていたが、多忙な時期は頻度が減っている。全職員で行えていない時は、担当職員間で振り返りを行っている。</li> </ul>
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10名	0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の記録をとると共に、次の支援につなげている。</li> </ul>	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10名	0名		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10名	0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本はそれぞれの担当が出席するようにしている。それぞれの職種が専門的に伝達する必要がある場合は複数人で出席している。</li> </ul>	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9名	1名		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10名	0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援会議などで情報共有し、園で般化できるように対人スキル等を練習している。必要に応じて連携を図っている。</li> <li>・園と互いに訪問し合い、それぞれの場所での利用児の様子を見たり、聞いたりする機会を設け、情報共有している。必要に応じて支援ツールを作成し、園への支援へも繋げている。</li> </ul>	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10名	0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供書やサポートブックを使用し申し送りを行っている。</li> <li>・就学に向けての見学受付等の対応も行っている。</li> </ul>	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	8名	2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業所と話をする機会は少ないが、会などを通して連携を図っている。</li> </ul>	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	8名	2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託の公認心理師にケースの相談や勉強会を受けている。</li> <li>・職員が学ぶ機会を設けたり、外部の研修に参加したりできるように調整している。又、その内容を内部研修で職員が共有している。</li> </ul>	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7名	3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども専門部会に参加している。</li> </ul>	

	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1名	9名		・スマイルとしては行っていないが、利用児が個人的に在籍する園でそれぞれ交流を行っている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9名	1名	・連絡帳や送迎時だけでなく、公式ラインや電話、時に相談の時間も設けながらしっかり共有するように心掛けている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7名	3名	・療育座談会を実施したり、研修の案内を行ったりしている。 ・支援ツールを作成する座談会があり、日常会話もしながら情報共有ができていた。今後も参加しやすい研修会が行えるようにしたい。	・参加しやすい日時や託児体制の工夫が必要。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10名	0名		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10名	0名	・半年に一回の懇談で保護者のニーズを確認し支援計画書を作成している。今後は子どもの意思も大切にして計画書につなげていく。	・子どもの意思確認については、今後研修などで取り組み方を学ぶ。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10名	0名		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10名	0名	・半年に一回の懇談で情報共有や困り感、ニーズの聞き取りを行い、必要に応じて保護者からの相談を受けている。保護者の気持ちに寄り添い、解決に向けて一緒に考えている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3名	7名	・今年度、療育座談会を企画し、支援ツール作成や保護者同士の交流の場を設けている。	・近年きょうだいの集まりはなかなか出来ていない。 ・保護者の要望を確認しながら開催にむけて検討する。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10名	0名	・職員間で周知し、必要に応じて関係機関にも連絡を取り、対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9名	1名	・おたよりや公式LINEを活用し、情報発信を行っている。	・子どもに対しての発信の仕方については要検討。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10名	0名		

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10名	0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュールやPECS、カード選択、アイコンタクトなど個々に合わせた支援ツールを作成し、意思の疎通を図っている。</li> <li>・通訳アプリや人の依頼、SNSや写真、絵を使用して丁寧に伝える。</li> <li>・子どもに分かりやすい方法を工夫しながら、保護者にも伝えている。</li> </ul>	
--	----	---------------------------------------	-----	----	---	--

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4名	6名	・避難訓練には地域住民の方に声を掛けている。	・災害訓練への誘いかけを実施しているが参加はなし。引き続き地域への周知は必要。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10名	0名	・訓練実施の他、危険予知の際には随時職員間で相談し対応している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10名	0名		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10名	0名		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10名	0名	・食物アレルギーなど除去が必要な対応食は写真付きのトレーに配膳し、検食簿にも色別で分かるよう区別して対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10名	0名	・分野に分けた安全計画を作成している。研修や訓練は全ての職員が参加できるように日程調整して行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10名	0名		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10名	0名		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10名	0名		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10名	0名	・身体拘束適正化会議を行い、定期的に職員間で確認している。	